

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和5年度上半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進

(3) 在宅医療の充実および在宅医療・介護連携を図るための体制の整備				
評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
⑤もーやっこネットワークシステム登録患者数 ※累計値	介護 医療	2,318人	2,037人	B
		目標値には未達だが、登録患者数は増加している。		
⑤ もーやっこネットワークシステム登録医療機関・事業者数 ※累計値		178件	253件	A
		目標値を達成。令和4年度下半期（255件）と比較するとほぼ横ばいである。		
⑤ もーやっこネットワークシステム投稿件数 ※累計値		96,494件（※）	84,436件	B
		目標値には未達だが、投稿件数は昨年度の下半期の1.1倍であり順調に増加している。		
⑥在宅医療介護 相談件数 ※年間合計	医療	270件	130件	B
		目標値には未達。新型コロナウイルス関連の相談が減ったため、件数は減少傾向である。		
⑦地域住民の普及啓発（出前講座）件数 ※年間合計	医療 地域	26件	7件	B
		目標値には未達であるが、地域団体への周知を行い、出前講座を開催している。		

(※) 令和4年度下半期から目標値修正  
令和5年度上半期より目標値を過去三年の前年度との伸び率の平均値（124%）を前年度の実績値に乗じた数とする。

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

（担当部署評価・評価委員会評価は裏面に記載）

#### 担当部署評価

⑤もーやっこネットワークシステムを利用した連携や相談において、令和4年度同様、引き続き取り組みを継続し、地域における医療・介護の連携を進めていく。出前講座について、新たな団体からの申し込みがあることから、地域団体への周知が広がっていることが伺える。下半期も、地域のボランティア活動や高齢者等が集まる場所等、地域住民への周知を行いながら、ニーズに応じて出前講座を開催できるように柔軟に対応していく。もーやっこネットワークシステムにおいても、出前講座の周知方法を再考しながら、下半期も各事業の実施を継続していく。

#### 評価委員会評価

もーやっこネットワークシステムについて、令和4年度の評価委員会で目標値を修正したが、登録医療機関事業者数は徐々に頭打ちとなってきている。登録患者数や投稿件数は目標値には達していないものの増加傾向であり、達成度は「Aに近いB」である。第8期計画ではもーやっこネットワークシステムを普及することを目標としていたが、第9期計画では活用するという観点から評価指標を考えてほしい。地域住民の普及啓発（出前講座）について、今年は「看取り」をテーマに市民フォーラムを実施する予定であり、地域連携推進協議会等を通じて啓発している。目標値については、数値的には未達であっても、その取り組みの状況を鑑み、下半期の総合評価を検討していく。